

東北ブナ紀行（81）

奥田 博

宮城県のブナでは、特異なブナの紹介となります。一つは太平洋の島である金華山。そして阿武隈山地北部、福島・宮城県境の山である手倉山。どちらの山も震災以降は、アクセスに難が生じ、難しくなった不遇の山とも云える。

127) 金華山 444m

定期船が減って、チャーター便に頼ることで、アクセスに少し難が出たが、やむを得ない。震災で歩く方が少なくなったが、環境省・みちのく潮風トレールの整備が行われ歩きやすくなった。

港が登山口で、三年続けて参拝すると金運が開け一生お金に困らないといわれる黄金山神社に参拝。その奥から沢状の道を登る。時折、ブナやケヤキの大木が現れ楽しい。鹿防止ネットが張られているが、鹿の食害は厳しい状況だ。水神社を抜けて尾根に出れば、太平洋の海原が広がる。ブナの尾根を登れば、山頂神社到着となる。

山頂からは一旦戻って、今登ってきたコースの北側の尾根を下るか、山頂から南へ下り、二の御殿跡から西に向かう道は、ブナの森歩きが楽しめよう。

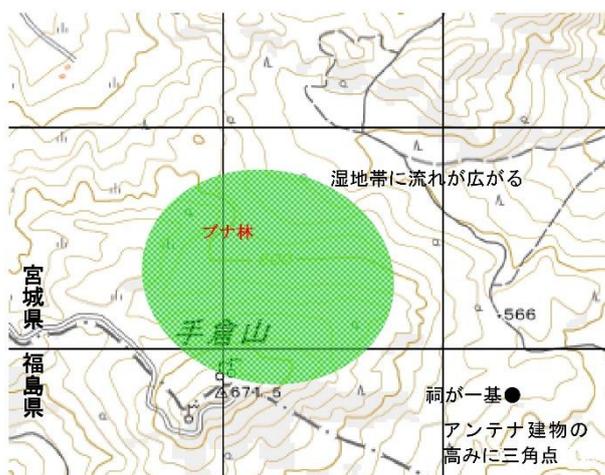
コースタイム：金華山港（15分）黄金山神社（1時間）山頂（北尾根 50分）黄金山神社（10分）港【山頂－南尾根 1時間】



128) 手倉山 675m

手倉山は阿武隈山地の宮城・福島県境にある低い山。登山道は無く、藪の薄い沢筋や尾根を歩くことになる。道標はもちろん、踏み跡すら無いので、上級向けの山かも知れない。道迷いしないための道具は必携。

手倉山頂の北側約22haヘクタールを宮城県は阿武隈溪谷県立自然公園の第1種特別地域に指定した。22haとは500m四方で25haだから少ないこと、この上ない。しかしモミの大木とブナ・イヌブナが自生している貴重な地域で価値は高い。



2019年丸森豪雨によって山頂への管理道が壊れてしまい、その管理道を歩くのが、一番近道。丸森・青葉地区から古い林道を辿るコースは3時間、県境の天明山から歩けば5時間。いずれも道標、登山道は無い低いけど遠い山だ。

コースタイム：登山口（1時間）手倉山頂（ブナ林散策 2時間）手倉山頂（50分）登山口



手倉山には立派なブナ林が広がる



金華山の尾根に上がれば、ブナと太平洋の眺